

2020 年 3 月 26 日

雑誌『広告』の最新号、本日 3 月 26 日発売！ 特集は「著作」 —「オリジナル版」と「コピー版」を同時発売—

株式会社博報堂（本社：東京都港区、代表取締役社長：水島正幸、以下博報堂）は、本日 3 月 26 日雑誌『広告』の最新号を発売いたしました。

昨年、クリエイティブディレクターの小野直紀が編集長に就任し、「いいものをつくる、とは何か？」を全体テーマに据え、この問いを思索する「視点のカタログ」として生まれ変わった雑誌『広告』。前号であるリニューアル創刊号では「価値」を特集、販売価格を 1 円（税込）とすることで大きな話題となりました。

最新号の特集は「著作」。SNS を賑わせる“パクリ”騒動や違法コンテンツ配信問題など、インターネット登場以降にもものづくりをとりまく環境が激変する中、あらためてオリジナリティや作家性、著作物の保護や利用のあり方など、「著作」についての様々な視点を投げかけます。

本号の企画制作にあたっては、『法のデザイン』（フィルムアート社）などの著者である法律家の水野祐氏を監修に迎えました。また、近年「写真の著作物性」に着目した作品を制作している美術家の原田裕規氏とコラボレーションし、代表作のひとつである『One Million Seeings』を再構築して誌面に掲載しています。

そして、今回の特集にまつわる問題提起として、「オリジナル版・価格 2000 円（税込）」とオリジナル版をコピーして作成した“セルフ海賊版”とも言える「コピー版・価格 200 円（税込）」の 2 冊を同時に発売します。



オリジナル版（左）とコピー版（右）写真©Gottingham

さらに、執筆者や取材先と協議のうえ、記事ごとにクリエイティブ・コモンズ・ライセンスを付与しています。（一部の記事は対象外）

※インターネット時代のための新しい著作権ルールで、作品を公開する作者が「この条件を守れば私の作品を自由に使って構いません」という意思表示をするためのツール。

■雑誌『広告』最新号（Vol.414）特集：「著作」

- ・価格：オリジナル版：2,000 円（税込）
コピー版（セルフ海賊版）：200 円（税込）
- ・発行日：2020 年 3 月 26 日
- ・全国の書店およびオンラインショップで販売 * 詳細は『広告』ホームページに掲載
雑誌『広告』ホームページ：[https:// kohkoku.jp/](https://kohkoku.jp/)
note 公式アカウント：<https://note.kohkoku.jp/>

■内容

- ・著作とオリジナリティ ～作詞家 いしわたり淳治 × 『広告』編集長 小野直紀
 - ・パクリと中国 ～パクリ文化研究家 艾君（アイジュン） インタビュー
 - ・文壇のヒエラルキーと「パクリ」の境界線 ～小説家 島田雅彦 インタビュー
 - ・類型のなかに、いかに自分の型を見出すか ～落語家 春風亭一之輔 インタビュー
 - ・プロデューサーの著作性 ～アゲハスプリングス代表 玉井健二 インタビュー
 - ・これからの著作権 ～法律家 水野祐 × THE GUILD 代表 深津貴之 × 『広告』編集長 小野直紀
- ほか全 20 記事を収録。

誌面に登場する方々（敬称略）

艾君（パクリ文化研究家）、安藤 和宏（法学者）、荒川 祐二（NexTone 代表取締役 COO）、いしわたり淳治（作詞家）、海老澤 美幸（弁護士）、岡田 秀則、ゴッティンガム（写真家）、島田 雅彦（小説家）、春風亭 一之輔（落語家）、玉井 健二（音楽プロデューサー）、陳曉 夏代、野村 正昭、深津 貴之（THE GUILD 代表）ほか



オリジナル版（左）とコピー版（右）写真©Gottingham

<雑誌『広告』について>

博報堂が発刊している雑誌『広告』は、1948 年に広告文化の創造と発展を目的に創刊されました。博報堂の社員が中心となって編集制作を行い、数年に一度、編集長の交代とともに全体テーマや装丁、編集体制の一新を図っています。2019 年よりプロダクト開発に特化した博報堂のクリエイティブチーム「monom(モノム)」を率いるクリエイティブディレクター／プロダクトデザイナーの小野直紀が就任。全体テーマを「いいものをつくるとは、何か？」に据え、この問いを思索する「視点のカatalog」としてリニューアル創刊しました。

小野 直紀（おの なおき）プロフィール

雑誌『広告』編集長。博報堂 monom 代表。クリエイティブディレクター／プロダクトデザイナー。2008 年博報堂に入社後、空間デザイナー、コピーライターを経てプロダクト開発に特化したクリエイティブチーム「monom（モノム）」を設立。社外では家具や照明、インテリアのデザインを行うデザインスタジオ「YOY（ヨイ）」を主宰。文化庁メディア芸術祭 優秀賞、グッドデザイン賞 グッドデザイン・ベスト 100、日本空間デザイン賞 金賞ほか受賞多数。2015 年より武蔵野美術大学非常勤講師。2019 年より博報堂が発行する雑誌『広告』の編集長を務める。

monom： <http://mono-m.jp> YOY： <http://yoy-idea.jp>

水野 祐（みずの たすく）プロフィール

法律家。弁護士（シティライツ法律事務所）。Creative Commons Japan 理事。Arts and Law 理事。東京大学大学院・慶應義塾大学 SFC 非常勤講師、リーガルデザイン・ラボ主宰。グッドデザイン賞審査員。著作に『法のデザイン 創造性とイノベーションは法によって加速する』（フィルムアート社）など。シティライツ法律事務所： <https://citylights.law/>

原田裕規（はらだ ゆうき）プロフィール

美術家。1989 年山口県生まれ。社会の中で「とるに足らない」とされているにもかかわらず、広く認知されている視覚文化をとり上げ、議論喚起型の問題を提起するプロジェクトで知られる。主な個展に「One Million Seeings」（KEN NAKAHASHI、2019 年）、「心霊写真／ニュージャージー」（Kanzan Gallery、2018 年）、主な著作に『ラッセンとは何だったのか？』（フィルムアート社、2013 年）など。